

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。2021年は本当にあつという間で、SOLAN開校初年度も残り3ヶ月足らずの第4クォーターだけとなりました。この第4クォーターは3年生のまとめとしつつも、4年生に向けての準備期間となります。唯一無二の一期生である子どもたちがどんな高学年になっていくのかを左右する重要な3ヶ月です。一人一人がより一層「考動」できる子になって欲しいと思っています。今後ともご理解ご支援のほどお願ひいたします。

学級の様子 ~18名でスタートした第4クォーター~

第4クォーターより4名の子が編入し、18名の3年1組になりました。8月のオープンスクールで1週間過ごしたとはいえ、4人ともかなり緊張した様子でSOLANでの学校生活をスタートしました。元からいる子どもたちにとっては4ヶ月ぶりの編入生でしたが、これまで以上に自分たちからサポートする姿が見られます。

誰かをサポートするには自分の準備をテキパキと早く終わらせることが大切です。特に1時間目の開始前は登校後の片付け、My Time、朝の会、1時間目の準備と少し慌ただしい形でスタートし、集中力を高めて1時間目のモジュールの授業に入ります。この時間は、以前からいた子、編入生にかかわらず少しバタバタしますが、こういった時に言葉で伝えなくても行動で見せたり、特に声をかけなくても準備を手伝ってあげたりする子どもたちがいます。それを嫌な顔をせずにできる子がいるのが3年生の特長です。4月に7名でスタートしたところから18名となったのも、子どもたちがつくり上げてきたこのような雰囲気や授業の様子が見学に来られる方々に良い印象を与えてきたからだと思います。本当に子どもたちには感謝しています。第4クォーターはそういった姿を学校全体に広げていければと思っています。

プロジェクト ~第4クォーター愛唱歌プロジェクト~

1/12(水)より今年度最後のプロジェクトがスタートしました。新たな課題を発表する前に、子どもたちと改めて「プロジェクトとは？」で話し合いをしました。その中で印象的だったのが「世の中にないものを生み出す時間」という意見です。また気持ちについて聞くと、「楽しみ」「おもしろい」という意見の一方で、「難しい」というものも出ました。こういった子どもたちの言葉を聞いていると、改めて難しいことにチャレンジしているなあと感じます。

これまで私が課題を発表してきた3つのプロジェクトとは違い、今回のプロジェクトは長尾理事長から「SOLANのみんなで歌える歌を作ってほしい」というミッションが提示される形でスタートしました。校歌のないSOLANにとって、「SOLANが分かる」「みんなが楽しんで歌える歌」を、瀬戸SOLAN学園を今後ひっぱり続けていく一期生の3年生に作って欲しいというのが、長尾理事長が伝えた願いです。その後、ミッションが出されたプロジェクトの内容を整理していく中で、「歌を作るにはまず音楽担当の谷口先生に相談しよう!」ということで、1/2年生の探究の授業中だった谷口先生に、代表者2名が金曜日の授業に来てもらえないか聞きに行き、無事時間をもらえることになりました。

1/14(金)の授業では、谷口先生にプロジェクトの概要とどんなことを助けてほしいか説明する形で進みました。その結果、プロジェクトの内容や子どもたちの思いが伝わり、プロジェクトをサポートしてもらえるだけでなく、知り合いの作曲家の方も紹介してもらえることになりました。子どもたちの熱意が通じて、踏み出した大きな一歩です。今後も学級通信等で進捗をお知らせいたしますので、お楽しみに!

写真はプロジェクトの授業で長尾理事長よりミッションが出された様子と、谷口先生からアドバイスを受けている様子です。